

特徴：間伐材を丸棒に成形し有効活用した低コスト牛舎の建築

畜種等	肉用牛・乳用牛・豚
県・市町村名	鹿児島県始良地域全域
取組実施者名	始良東部地区低コスト牛舎開発協議会(鹿児島県始良東部森林組合)
経営形態	-
飼養頭羽数	-
取組開始年	平成18年度



間伐材の円柱加工機による丸棒形成



パドック式繁殖牛舎への活用(霧島市霧島)



肥育牛舎への活用(霧島市隼人町)



実用新案を取得した金属接合板の例

丸棒牛舎開発の経緯の概要

貴重な森林資源である間伐材の用途は限られていたため、間伐が進まず、山が荒廃する状況であった。鹿児島県始良東部森林組合では間伐材円柱加工機の導入により間伐材を規格の揃った丸棒に成形できるようになったことから、牛舎や倉庫などへの活用を考えた。同協議会では検討を重ね、この丸棒をパドック型採光性牛舎建築資材に活用し、低コストの牛舎建築ができるようになった。

丸棒牛舎の特徴

間伐材の利活用と木の接合部位に独自に開発した金属接合板を用いるなど工夫され、建築コスト低減が図られた。丸棒は芯材であるため丈夫で、また接合部位の部分補修が容易に行うことができる。さらに、木の角(かど)がないことから家畜に対するケガも少なく、木の熱伝導率が低いので、接触しても冷たさが金属より冷たくないなど、環境に対しても家畜に対しても優しい畜舎と言える。

取組の実績・効果及び建築農家の感想等

【取組実績及び効果】

これまでに、県外からの問い合わせも多く、管内外に13棟が建築された。棟数が増える途中で改善点があれば改善し、徐々に単価設定も安価に抑えられるようになってきた。

簡易牛舎などの基準単価は2万円以下が一般的で、現在さらにこの基準単価をクリアーするような開発を進めているところである。諸建築基準をクリアーしていることから、補助事業対象にも採用されるなど、その良さが評価されつつある。

【農家の感想】

肥育牛農家では「牛の事故率が減った」などその効果が評価され、生産牛農家でも環境に優しい牛舎として評価されている。鉄骨などの資材が高騰する中で、建築コストの低減が図られたことを高く評価している。

情報提供者からのコメント

これまで、あまり縁のなかった林業と畜産がコラボレートし、林家と畜産農家ともに利点があることから結びついた良い事例と言える。さらに丸棒牛舎のみならず堆肥舎や倉庫などへの活用も視野に入れて、波及に努めていきたい。

事例提供（執筆者）： 鹿児島県始良・伊佐地域振興局農政普及課畜産普及係 竹迫良和
お問合せ： 始良・伊佐地域振興局農政普及課畜産普及係 TEL 0995-63-8225